

「復興元年」～被災地を忘れず、ともに歩もう！
被災地を全力で支援していくとのアピールも確認された。
＝札幌市民ホール



連合北海道

デフレスパイラル

からの脱却を

連合北海道は、3月8日、2012春闘総決起集会を開催し、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて方針を提起、各構成組織の意思統一を図った。

会場となった札幌市民ホールには、全道の各単産から多くの仲間が集まった。開会の前段で「社会保障と税の一体改革」をテーマとした

DVDが上映され、続いて工藤会長は「震災から一年が経過する。被災者が1日でも早く生活を取り戻せるよう、具体的活動の先頭に立ち、

いしかりちほん

引き続き支援していく。震災を風化させない取り組みが今後重要となる。また、春闘では、経済を取り巻く情勢が非常に厳しい。非正規が増加し、若者の雇用も悪化している。デフレスパイラルからなんとかとしても抜け出さ

ねばならない。配分のゆがみは正改善等の要求を明確化し、内需活性化につなげるのが重要。はたらくものすべての処遇改善を目指していく。また、定昇制度は賃金制度の根幹であり、労使交渉でしっかり交渉していく

と挨拶、国公関連法案早期成立や復興への支援、春闘交渉への決意を述べた。その後、具体の春闘方針が提起され、集会決議の採択の後、参加者全員で団結ガンパローを行い、闘う決意を改めて確認し、集会を終えた。

発行
2012年3月30日
12-6号
〒060-0806
札幌市北区北6条西7丁目
自治労北海道本部内
石狩地方本部
村上 真仁
TEL:011-747-1880



泊原発とまれ!

さようなら原発1000万人アクション実行委員会は震災から1年が経過し、節目となった3月11日、大通公園において3・11北海道集会を開催し、改めて脱原発を市民に訴えた。これに連動して、24日、岩内町で「泊原発再稼動を許さない北海道集会」を開催し、全道から1500名が参加、石狩地本からも各単組・総支部から参加者が現



泊原発停止を訴える石狩地本参加団

地に結集した。この集会は、泊1・2号機の再稼動を許さない、北海道版の脱原発を目的として開催されたもの。主催者を代表して岩内原発問題研究会佐藤氏が泊廃炉を参加者に強く訴えた。

集会後、参加団は岩内町内をデモ行進し、「再稼動は許さない!」とシュプレヒコールで泊原発の停止をアピールした。

**地公への遮断
町村会へ緊急申入れ**

石狩地方本部は3月9日、先に行われた道本部の緊急地本代表者会議にて示された方針に基づき、道本部の全道市長会・町村会への申入れに連動し、石狩町村会に対し、以下の申入れを行った。

- ▼申入れの内容
- ① 「国公給与の改定及び臨時特例に関する法律」による国公給与削減を理由とした削減を行わないこと。
 - ② 地公の給与について、国公と同様の措置実施を求めぬよう、政府関係機関に働きかけること。

集合レポート

第33回全国町村職総決起集会



去る2月24日、全国町村職総決起集会が開催され、石狩地本からは、長谷川幹事を中心に、当別町職の浦島書記次長、高松組合員、新篠津村職の海野書記長、貝田組合員の5名で参加した。

集会終了後は、今年改選期を迎えるあいから参議の事務所を表彰訪問して激励を行い、北海道団の交流集いで、北海道の仲間と交流を深めた。(町村連幹事 長谷川)

★書記局から
2年間という短い期間でしたが、皆様が大変お世話になりました。自分にとっていい経験となり、これからの仕事にも生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。(地本書記与板)

全国の仲間と共闘を確認した石狩地本参加メンバー